

【自由回答】 さまざまなご意見・ご質問、川の歴史や昔話などご自由に皆様の声をお聞かせください。

身近な川：須川

番号	河川名	性別	年齢	意見
N1	須川	男	50代	河川の工事と農業用水の工事は別という話を聞きましたが、関連があるように感じます。
N2	須川	男	50代	川は、水のしくみの中で大事な役割をしています。雨が山に降り、地下に浸透して、川に入り、人々の生活を助けながら海に入る。このシステムを教育の場や地域の場で、常に広報していくことが大事と思う。
N3	須川	男	60代	自主避難した世帯が、友人、親戚、公民館でどこに避難したか不明であった。公民館への避難者への援助が一切できなかった。 (例 帰宅時の相談、情報の提供、雨が降っている時に生活回りの援助ができない)
N4	須川	男	60代	鮎沢川水系に関しては、河川敷の利用等、全く考えられていない。水系によっても異なるが鮎沢川の本流と異なり、須川は清流である。従来から考えていたが、遊歩道等作ると利用価値は大きいと思われる。(例 西山用水+須川 奥の沢川まで)
N5	須川	男	60代	身近な川は須川だが、鮎沢川において、小山町の健康福祉会館から足柄駅あたりまで河川のどちらかに遊歩道をぜひ作って欲しい。河川両側にあればベストだ。小山町は歩道が少ない。立派な歩道は山の中(上野、富士霊園付近)にあり、ほとんど誰も歩いていない。人々が住んでいる街中にこそ、これからの高齢化社会の中で必要ではないかと思う。小山町の家産排水はほとんど用水から河川に流される。河川の水と下水の水は分離すべきだ。下水道を作るより合併槽の設置推進と補助金をつけてほしい。
N6	須川	男	60代	川自身の整備・保全是もちろん必要だと思いますが、小山町の場合は、森林の整備・保全がなによりも必要だと思います。特に鮎沢川は神奈川の水源となっているので、土砂の流入を防ぐ対応が課題だと思います。
N7	須川	男	60代	この程度の事に我々の血税を使い怒り心頭だ。 八ガキで十分用は足りる。川を考える前にみんなの金を考える馬鹿！
N8	須川	男	60代	須川は47年に災害を受けました。 3年前に再度、災害を受け危険と思ってます。
N9	須川	男	70代	神奈川で二宮金次郎が活動した歴史
N10	須川	男	70代	40年前には、所領の鮎沢川の水が淀むところで、川魚など、ハヤ、ウグイが、おもしろいように釣れたことを覚えている。度重なる豪雨などで、その自然の生態系が崩れたように思う。それでも、川の水に足をつけてみると、こころよい冷たさがあり、ほっとする。「川のある風景」は、富士山ともよく似合うのではないだろうか。
N11	須川	女	50代	昔は裏の川で、スイカを冷やしたり、水遊びをして、よく子供達を遊ばせましたが、最近、川の水も汚れ、安心して、川の水を利用することができなくなってしまいました。
N12	須川	女	60代	大切な水源である須川を守りたい。
N13	須川			平成22年台風9号による大雨で川底のわくが壊れ大きなコンクリ - トのたまが今だに撤去されていない。下順川橋の上の水門の上、大雨が降ると心配です。